

## 孤独死考えるシンポ

地域のつながりの希薄化が問題になるなか、孤独死について考えるシンポジウム「『無縁社会』から『人と人をつなぐ』社会を目指して」が18日、東京・新宿区で開かれる。

都市部の団地などで孤独死の問題に取り組む人などが、現状や課題について話し合う。千葉県松戸市の常盤平団地自治会長、中沢卓実さんが孤独死防止の活動について講演。さらに、新宿区の都営戸山団地住民らで作るNPO

法人「人と人をつなぐ会」代表の本庄有由さん、高齢者が多く住む地域で生活実態の聞き取り調査を行った北九州市立大教授の檜原真二さんらがシンポジウムに参加する。

主催団体の一つの市民団体「いのちのフォーラム」代表の中下大樹さんは、「人と人とのつながりが薄くなる中、孤独死を身近な問題として考えてもらえれば」と話す。

同区の淀橋教会インマヌエル礼拝堂で、午後1時から。参加費500円。問い合わせは、人と人をつなぐ会(03・5330・3795)へ。